

2024年12月期 第3四半期決算説明会 Q&A

日時：2024年10月31日（木）17:00～17:45

No	項目	Q	A
1	全体	米大統領選の影響は？	当社への直接の影響は、新大統領が打ち出す政策により、現在様子見をしている自動車メーカーが投資に動き出すかどうか。間接的には、貿易での関税等のリスクの影響がある。
2	全体	3Qの実績は想定内との理解で良いか？	計画に対する進捗率は、売上高 71.0% 営業利益 71.4%であり、全体感としては売上利益ともに概ね計画通り。
3	全体	次期中期計画の要点部分をお聞かせ願いたい。	新たな価値をどう作っていくか議論を詰めている。内容については来年2月にお示ししたい。
4	CMP	価格転嫁の進捗は？	原材料費高騰分の価格転嫁は妥結した。電力費高騰分等を随時価格転嫁している。同時に調達費のコストダウン、費用削減を通じた利益改善施策を実施中。価格転嫁の適用時期はお客様によって異なるが、需要回復に伴う増収により価格転嫁の効果額も増加する。
5	精密減速機	3四半期連続で受注が増加しているが、今後もこのペースで受注は戻ってくるのか？	過去の傾向からすると、受注が本格回復する際には、現在みられているようなスポットオーダーによる増加ではなく、納期の前倒し要求がくるほどの急激な需要増加がみられる。現在の需要トレンドとは一致しないため、本格回復は来期と予想。
6	油圧機器	中国工場と販売会社の統合効果は？	来期以降、年間数億円レベルの費用の削減効果を狙っている。
7	TRS	3Qで収益性が改善した要因は？	売上構成比、経費発現タイミングのズレと費用削減。
8	航空機器	ボーイング社のストライキの影響は？	過去のストライキの傾向からすると11月中には妥結するのではと考えており、その前提では今期の当社への業績影響は限定的。但し、ストライキが長期化すると売上や利益といった業績への直接影響が想定される。多少の変動であれば、MROの拡販や防衛省向けの受注拡大などの施策を講じて補う見込み。